

GalnetCloud 利用規約

発効日：2025年10月9日

第1条（適用）

1 本規約は、本サービスの提供条件および本サービスの利用に関する当社と利用会社との間の権利義務関係を定めることを目的とし、利用会社と当社との間の本サービスの利用に関わる一切の關係に適用される。

2 本規約の内容と、本規約外における本サービスの説明内容等とが異なる場合は、本規約の規定が優先して適用される。

第2条（定義）

本規約で利用される用語について、以下のとおり定義する。

- (1) 「サービス利用契約」とは、本規約の定めや本サービスの見積書および注文書の記載内容（以下「本規約等」という。）を契約条件として当社と利用会社の間で締結される、本サービスの利用契約とする。
- (2) 「当社」とは、IMV 株式会社とする。
- (3) 「本サービス」とは、利用会社が設置する地震計（利用会社が当社から購入したもの又はリースしたもの）が取得したデータ等を当社に送信し、当社が解析して、利用会社に還元するサービスとする。当該サービスを総称して「GalnetCloud」（当該サービスには理由の如何を問わずサービスの名称または内容が変更された場合は、当該変更後のサービスを含む）という。本サービスの詳細は、第4条（本サービスの内容と料金）に定める。
- (4) 「クラウドサービス」とは、そのドメインが「imv-galnetcloud.com」である、当社が運営するウェブサイト（理由の如何を問わず、当社のウェブサイトのドメインまたは内容が変更された場合は、当該変更後のウェブサイトを含む）上で提供されるサービス、およびその提供のための情報システム全般とする。
- (5) 「ユーザーアカウント」とは、クラウドサービスにログインし、ウェブサイトを利用するための認証情報とする。
- (6) 「通信ユニット」とは、利用会社が設置する地震計及び当該地震計とクラウドサービスとの間のデータ送受信を行うためのIoTゲートウェイその他の機器一式とする。
- (7) 「装置」とは、当社指定の通信ユニットとの接続性を有する装置全般とする。
- (8) 「利用会社」とは、第8条（利用の開始）に基づいての利用契約を締結することにより、本サービスを利用する組織として登録された法人その他の団体とする。
- (9) 「利用者」とは、第8条（利用の開始）に基づいて、利用会社における本サービスの

利用者として登録がなされた個人とする。

- (10) 「利用者識別データ」とは、第8条（利用の開始）の過程で登録される利用会社の名称、所在地、電話番号、並びに、利用者の氏名、所属部署名、役職、メールアドレス等の、当社が利用会社ならびに利用者を識別するためのデータとする。
- (11) 「位置情報データ」とは、第8条（利用の開始）の過程で利用会社からの申し出を受けて、当社が登録する地震計の設置場所を特定するための、当社が指定する地図上における緯度、経度、地表からの高さからなる三次元データとする。
- (12) 「観測データ」とは、地震計及び装置において取得された地震動を計測したデータ（以下「地震観測データ」という。）及び地震観測データに基づき波型生成したデータ（以下「地震波形データ」という。）とする。
- (13) 「装置ステータスデータ」とは、利用会社が設置した地震計及び装置の電流、電圧等の稼働状況を表すデータとする。
- (14) 「解析データ」とは、利用者識別データ、位置情報データ、観測データをもとに当社が演算処理を行ったデータとする。

第3条（サービス提供地域）

本サービスの提供地域は、通信ユニットからクラウドサービスに観測データを送受信することが物理的に可能で、当該送信が合法である地域とする。

第4条（本サービスの内容と料金）

- 1 本サービスの具体的な提供内容、標準価格、提供条件および提供単位については、別途見積書に定める。
- 2 当社は、必要と認めるときは、本サービスの内容および機能等の全部もしくは一部を追加、変更、または削除する場合があります、利用会社はこれをあらかじめ承諾する。

第5条（支払い）

- 1 本サービスの利用料金および支払方法は、別途見積書および注文書に定めるとおりとする。
- 2 当社は利用会社に対し、注文書に基づき、請求書を送付する。利用会社は、請求書に記載された支払日までに、上記金額を当社が指定する方法で支払う。
- 3 当社は利用会社に対して1か月前までに通知することにより、本サービスの利用料金を変更することができる。この場合、別途当社が指定する日をもって、変更後の料金が適用される。

第6条（利用料金不払時の措置）

- 1 利用会社が、本サービスの利用料金その他の当社に支払うべき金員の支払いの全部ま

たは一部を遅滞した場合、当社は、本サービスの全部または一部の提供を停止することができる。

2 第1項の措置によって利用会社に損害が生じた場合であっても、利用会社は、当社に対し、損害賠償請求その他一切の請求を行うことはできない。

第7条（遅延利息）

利用会社が請求書に基づく債務の支払いを怠ったときは、支払うべき期日の翌日から完済に至るまで、支払うべき金額に対し年14.6%の割合による遅延損害金を当社に対し支払わなければならない。

第8条（利用の開始）

1 本サービスの利用を希望する法人その他の団体は、当社の指定する申込書に必要事項を記入し、当社に提出することにより申込みを行うものとする。

2 当社が、前項の申込みを承諾し、その旨を本サービスの利用を希望する法人その他の団体に通知することにより、当社と当該法人その他の団体との間でサービス利用契約が成立する。この場合、当社は、申込書に記入された内容に基づき、利用者のユーザーアカウントを利用会社に提供する。

第9条（届出義務）

利用会社は、会社名、住所その他当社への申込書記入事項に変更があった場合、または合併、会社分割、事業譲渡等により地位の承継があった場合には、当社に対し速やかに届出を行う。

第10条（契約期間中の利用の終了）

1 利用会社は、契約期間中、契約期間満了前であっても、本サービスの利用を終了しようとする日の1ヶ月前までに、当社へ書面で通知することにより、本サービスの利用を終了することができる。

2 利用期間が満了する前に本サービスの利用を終了した場合であっても、その理由の如何を問わず、当社は、利用会社に利用料金の返金を行わないものとする。

3 利用会社は、本サービスの利用の終了時には、通信ユニットのうち当社からリースした機器一式を当社に返却するものとする。この場合、返却にかかる一切の費用は利用会社が負担するものとする。

4 当社は、本サービスの利用終了後も、利用会社の利用者識別データ、位置情報データ、観測データ、装置ステータスデータについては、本サービスの利用履歴を確認するために削除せず保持する。当社は、位置情報データ、観測データ、解析データを保持して、利用会社名が明らかにならないかたちで統計データとして利用することができる。

第11条（ユーザーアカウントの管理）

1 利用会社は、本サービスを利用するにあたり、利用者用のユーザーアカウントを、厳重な注意をもって管理・権限付与するものとし、利用者以外の第三者に付与または使用させてはならないものとする。

2 利用者用のユーザーアカウントが、利用者以外の第三者に利用された場合であっても、当社は、当該利用について、利用会社によるものとみなすことができ、これにより利用会社に損害が発生した場合であっても何らの責任も負わない。

3 当社は、本サービスの不正利用が疑われる場合には、利用会社に通知することなく、利用会社による利用者用のユーザーアカウントの利用を停止することができる。利用会社はこれをあらかじめ承諾するものとし、これにより利用会社に損害が発生した場合であっても、当社は何らの責任も負わない。

第12条（利用会社の利用者に対する管理責任）

利用会社は、利用者をして、それらの者が本サービスを利用するにあたり、次の各号の事項を遵守させなければならない。

- (1) 本規約等および当社から利用会社に提供する本サービスの説明資料等において定めた禁止または制限事項に違反する行為を行わないこと
- (2) 国内外の諸法令もしくは各地方自治体が制定する条例に違反する、または違反する恐れのある行為、またはそれらを助長する行為を行わないこと
- (3) 当社もしくは第三者の権利（著作権を含む知的財産権等）を侵害するまたはその恐れのある行為を行わないこと
- (4) 本サービスを構成する情報システムに対する逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、その他情報システムのソースコード、構造、アイデア等を解析するような行為を行わないこと
- (5) 本サービスを構成する情報システムを複製、送信、譲渡、貸与、翻訳、翻案、改変、他のソフトウェアと結合等する行為を行わないこと
- (6) クラウドサービスに不正にアクセスする行為、クラッキング行為、アタック行為、ウイルス発信行為、その他本サービスの運営に支障を与える行為またはその恐れのある行為を行わないこと
- (7) 第三者になりすまして本サービスを利用する行為を行わないこと
- (8) ユーザーアカウントの複製、頒布、貸与、第三者への漏洩、リースおよび担保設定行為を行わないこと
- (9) その他、公序良俗に反する行為もしくはその恐れのある行為または当社が不適切と判断してその旨通知した行為を行わないこと

第13条（サービスの利用停止および変更、中断、終了）

1 当社は、次の各号に掲げる事由が生じた場合には、利用会社に事前に通知することなく、利用会社によるクラウドサービスの利用を停止することができる。

- (1) 利用会社が本規約等に違反し、または違反する恐れがあると当社が認めた場合
- (2) 利用会社によりクラウドサービスに著しい負荷や障害が加えられることによって、当社による本サービスの提供に影響を与え、または与える恐れがあると当社が認めた場合
- (3) その他、利用会社によるクラウドサービスの利用方法等が不適切であると当社が認めた場合

2 当社は、以下のいずれかに該当する場合には、利用者に事前に通知することなく、本サービスの全部もしくは一部を変更または中断することができるものとする。

- (1) 本サービスの提供に関わる情報システムを構成する当社外の提供サービス（通信事業者、クラウド事業者等）の障害により、本サービスの提供ができなくなった場合
- (2) 本サービスの提供に関わる情報システムの点検または保守作業を緊急に行う場合
- (3) 当社の責めに帰すべき事由以外の原因で、情報システムまたは通信の障害、誤操作、過度なアクセスの集中、不正アクセス、ハッキング等により本サービスの提供ができなくなった場合
- (4) アクセス過多その他予期せぬ要因でクラウドサービスのデータ処理速度の低下や障害等が生じた場合
- (5) 地震、落雷、火災、風水害、停電、天災地変などの不可抗力により本サービスの運営ができなくなった場合
- (6) その他、当社が変更または中断を必要と判断した場合

第14条（本規約の解除等）

1 当社は、利用会社が次の各号のいずれかに該当する場合、相当の期間を定めて利用会社に催告し、なお当該期間内に是正されない場合は、サービス利用契約の全部または一部を解除することができる。

- (1) 利用会社が不正行為をなし、また当社の指示に従わないとき、または当社の従業員の職務の遂行を妨げたとき
- (2) 前号に掲げる場合のほか、本規約等に違反したとき

2 利用会社が次の各号に該当する場合、催告その他何らの通知をすることなく、サービス利用契約の全部または一部を解除することができる。

- (1) 監督官庁より営業の取消、停止等を受けたとき
- (2) 第三者より差押、競売、仮差押、仮処分の申立てがなされたとき
- (3) 破産、特別清算、民事再生手続、会社更生手続等の開始決定があったとき、またはこれらの申立てがなされたとき
- (4) 公租公課の滞納処分を受けたとき

- (5) 手形・小切手の不渡りを出したとき、または銀行取引停止処分を受けたとき
- (6) 支払停止、支払不能等の事由が生じたとき
- (7) 解散（合併による場合を含む。）または営業の全部もしくは一部を第三者に譲渡したとき
- (8) 株主が 50%を超えて変動したとき、その他会社の支配に重要な影響を及ぼす事実が生じたとき
- (9) 本項第 1 号ないし第 8 号に掲げる場合のほか、財産状態が悪化したと認められる場合
- (10) その他サービス契約を継続しがたい重大な背信行為があったとき

3 前 2 項に定めるほか、利用会社が本サービスの利用料金の支払いを 1 回でも遅滞し、相当期間を定めて催告してもなお支払わない場合、当社は、サービス利用契約の全部または一部を解除することができる。

4 前各項に基づく解除は、当社が利用会社に対して行う損害賠償請求を妨げない。

第 15 条（再委託）

1 当社は、本サービスの提供に関する業務の全部または一部を第三者に再委託することができるものとする。

2 当社は、再委託先に対し、本規約等に基づき当社が負う義務と同等の義務を負わせるものとする。

第 16 条（データの取り扱い）

当社は、第 2 条（定義）で定めた利用者識別データ、位置情報データ、装置ステータスデータ、解析データを、以下の通り取り扱う。

- (1) 当社は利用者識別データを、利用会社および利用者の識別、利用履歴の確認、および当社サービスの利用に関する各種の連絡事項の伝達にのみ利用し、利用会社の許可なくそれ以外の用途では利用しない。
- (2) 当社は装置ステータスデータを、利用会社の利用履歴の確認、所有する装置の健全性の判断および利用会社に対する装置のメンテナンスの提案に用いることができる。
- (3) 当社は解析データを利用者を特定できないかたちで一般公開することができる。

第 17 条（秘密保持）

当社および利用会社は、相手方の事前の書面による承諾がない限り、相手方から秘密として開示を受けた営業上または技術上の情報、および本規約等に関する情報（以下「秘密情報」という。）を秘密として保持し、第三者に開示または漏えいしてはならない。ただし、次の各号に該当する情報は、秘密情報に該当しない。

- (1) 相手方から開示された時点で秘密保持義務を負うことなく自ら保有していた情報

- (2) 相手方から開示された時点で既に公知であった情報
- (3) 相手方から開示された後で自らの責によることなく公知となった情報
- (4) 第三者から秘密保持義務を負うことなく適法に入手した情報
- (5) 相手方から開示された情報によることなく独自に開発した情報
- (6) 法令、規則、裁判所の決定・命令および正当な権限を有する機関の命令等に基づき、開示を要求された情報（ただし、開示にあたり事前に相手方への通知を要する。）

2 秘密情報を受領した当事者（以下「受領当事者」という。）は、秘密情報を開示した当事者（以下「開示当事者」という。）からの書面による請求があった場合には、自らの選択および費用負担により、当該秘密情報を、速やかに返還または破棄する。

3 受領当事者は、開示当事者が要請した場合には、前項に基づく受領当事者の義務が履行されたことを証明する書面を要請後速やかに開示当事者に対して提出するものとする。

第18条（免責事項）

1 当社は、第13条に該当する理由および次の各号の事由により、本サービスを提供できなかったことに関して、利用会社またはその他の第三者が損害を被った場合であっても、一切責任を負わないものとする。

- (1) クラウドサービスを利用する利用者側の環境に起因する事由（端末の不具合、通信の不具合等）
- (2) 通信ユニットを設置した利用会社の環境に起因する事由（停電等）
- (3) 利用会社が、地震計を設置した場所が、位置情報データが示すのと異なる場所であったことに起因する事由
- (4) 利用会社が通信ユニットに対し、当社に無断で、設置場所や接続先装置の変更、機器の追加接続、改造、ソフトウェアの追加インストールやバージョンアップ等の行為を行ったことに起因する事由
- (5) 利用会社が設置した場所が、日本国外の場合において、通信ユニットとクラウドサービスとの間の送受信が、物理的又は当該場所を管轄する当局の法規制のために不可能又は違法であることに起因する事由
- (6) その他、利用会社の責めに帰すべき事由

2 当社は、利用会社が本サービスを利用して生じる結果および本サービスを用いて行った行為の結果について何ら保証するものではなく、その理由の如何に関わらず、利用会社に対して一切の責任を負わないものとする。

3 利用会社は、本サービスの利用に関連して他の利用会社または第三者との間で生じた一切の紛争等について、自己の責任と費用負担にてその解決を図るものとする。

第19条（保証および非保証）

1 当社は、利用者識別データ、位置情報データ、観測データ、装置ステータスデータ、解

析データについて、クラウドサービスから利用会社の通信ユニットへの提供時点までの間に恣意的な変更が行われていないことを保証する。

2 当社は利用会社に対し、解析データに関し、特定目的への適合性、商品性、正確性、完全性、有用性、知的財産権の非侵害をはじめ、いかなる種類の保証もしない。

3 当社は、本サービスの提供にあたり、データの処理速度・品質等について、何らサービスレベルを保証するものではない。

第20条（損害賠償の制限）

利用会社または当社が、本規約等に違反し、または本サービスに関して相手方に損害を与えた場合には、損害を与えた者は、その損害（弁護士費用を含む。）を賠償する責任を負うものとする。ただし、本サービスに関して当社が負担する賠償責任は、逸失利益、事業機会の喪失等の間接的な損害を除いた直接かつ通常の損害に限るものとし、その総額は、損害賠償の事由が発生した時点から遡って3か月間に当社が利用会社から現実に受領した利用料金の総額を上限とする。

第21条（本規約等の変更）

当社は利用会社に対し、3か月前までに通知することにより、本規約等の一部について変更することができる。

第22条（連絡／通知）

1 本サービスに関する問い合わせその他利用会社から当社に対する連絡または通知、および本規約等の変更に関する通知その他当社から利用会社に対する連絡または通知は、当社の定める方法で行うものとする。

2 当社が利用者識別データに含まれるメールアドレスその他の連絡先に連絡または通知を行った場合、利用会社は当該連絡または通知を受領したものとする。

第23条（サービス利用契約上の地位の譲渡等）

利用会社は、当社の書面による事前承諾がない限り、サービス利用契約上の地位、同契約に基づく権利または義務の全部または一部を他に譲渡してはならない。

第24条（分離可能性）

本規約等の一部またはある規定が管轄権を有する裁判所またはその他の審判所により執行不能または無効と宣言されても、本規約等のその他の部分または規定の有効性は一切影響を受けないものとする。

第25条（契約期間）

1 サービス利用契約の契約期間は、第8条第1項所定の申込書に記載の契約期間の開始日より1年間とし、期間満了の1か月前までに、両当事者のいずれからでもサービス利用契約の終了の申入れのない場合には、同契約は同一の条件で自動的に1年間延長され、以降も同様とする。ただし、当社が契約期間の満了をもって本サービスの全部又は一部の提供を終了する場合には、同契約期間満了日の1年前までに利用会社に通知するものとする。

2 サービス利用契約が終了した場合であっても、本条、第7条（遅延利息）、第10条（利用の終了）（第1項を除く。）、第16条（データの取り扱い）、第17条（秘密保持）、第18条（免責事項）、第20条（損害賠償の制限）、第24条（分離可能性）、および第26条（反社会勢力の排除）、第27条（完全合意）、第28条（協議事項）、第29条（準拠法および管轄裁判所）の規定は、引き続きその効力を有する。

第26条（反社会勢力の排除）

1 利用会社が反社会的勢力（暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者をいう。以下同じ。）に該当し、または、反社会的勢力と以下の各号の一にでも該当する関係を有することが判明した場合、当社は何らの催告を要せず、サービス利用契約を解除することができる。

- (1) 反社会的勢力が経営を支配していると認められるとき
- (2) 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められるとき
- (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に反社会的勢力を利用したと認められるとき
- (4) 反社会的勢力に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められるとき
- (5) その他役員等または経営に実質的に関与している者が、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 利用会社が自らまたは第三者を利用して以下の各号の一にでも該当する行為をした場合、当社は何らの催告を要せず、サービス利用契約を解除することができる。

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
- (4) 風説を流布し、偽計または威力を用いて当社の信用を棄損し、または当社の業務を妨害する行為
- (5) その他前各号に準ずる行為

3 利用会社は当社に対し、次の各号の内容について責任を負うことを承諾する。

- (1) 利用会社は、利用会社または利用会社の下請または再委託先業者（下請または再委託契約が数次にわたるときには、その全てを含む。以下同じ。）が第1項に該当しない

ことを確約し、将来も同項もしくは第2項各号に該当しないことを確約する。

- (2) 利用会社は、その下請または再委託先業者が前号に該当することが契約後に判明した場合には、ただちに契約を解除し、または契約解除のための措置を採らなければならない。
- (3) 利用会社が、前各号の規定に反した場合には、当社はサービス利用契約を解除することができる。

4 利用会社は、次の各号の内容について承諾する。

- (1) 利用会社または利用会社の下請もしくは再委託先業者が、反社会的勢力から不当要求または業務妨害等の不当介入を受けた場合は、これを拒否し、または下請もしくは再委託先業者をしてこれを拒否させるとともに、不当介入があった時点で、速やかに不当介入の事実を当社に報告し、当社の捜査機関への通報および当社への報告に必要な協力を行うものとする。
- (2) 利用会社が前号の規定に違反した場合、当社は何らの催告を要せずに、サービス利用契約を解除することができる。

5 当社が本条各項の規定によりサービス利用契約を解除した場合には、利用会社に損害が生じても当社は何らこれを賠償ないし補償することは要せず、また、かかる解除により当社に損害が生じたときは、利用会社はその損害を賠償するものとする。

第27条（完全合意）

本規約等は、本規約等に含まれる対象事項に関する当事者の完全かつ唯一の合意を構成し、当事者間に存在するすべての従前の合意、理解、または協議内容に優先する。

第28条（協議事項）

本規約について疑義が生じた場合、または本規約に定めのない事項については、当社と利用会社が協議のうえ誠意をもって解決するものとする。

第29条（準拠法および管轄裁判所）

- 1 本規約の成立、効力、履行および解釈に関する準拠法は日本法とする。
- 2 本規約に関連する訴訟は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。